

各種調査について（参考資料）

1 函館市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

目的	日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況，その置かれている環境その他の事情を正確に把握し，第10次函館市高齢者保健福祉計画・第9期函館市介護保険事業計画策定のための検討資料とするとともに，回答者に結果アドバイス票を送付し，健康への意識を高めるきっかけとする。
概要	(1) 対象者および調査票発送数 ① 非認定者 …4,567人 要支援・要介護認定者および基本チェックリスト該当者を除く高齢者 ② 要支援者等…3,419人 要支援認定者または基本チェックリスト該当者である高齢者
	(2) 調査方法 無作為抽出した対象者に，郵送により調査票を配布し回収する。 (調査期間：令和4年12月20日～令和5年2月3日)
	(3) 調査項目数 72項目（国指定の必須項目42+オプション項目9，市独自項目21） 《設問内容》家族・生活状況，運動，口腔・栄養，物忘れ，閉じこもり，地域活動など
	(4) 結果アドバイス票 運動器・口腔・認知機能の低下，閉じこもり・うつの傾向および栄養状態について回答内容に応じたアドバイスを作成・送付

2 在宅介護実態調査

目的	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の観点から，本市が取り組むべき課題を検討するため，実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。
概要	(1) 対象者および調査件数 在宅生活をしている方で，過去に行った更新申請・区分変更申請により，要支援または要介護の認定有効期間を有している方 480人
	(2) 調査方法 地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所のケアマネジャーを通じ，アンケート方式の聞き取り調査を行う。 (調査期間（予定）：令和5年2月20日～令和5年4月28日)
	(3) 調査項目数 19項目（基本項目9+オプション項目10） 《設問内容》家族等からの介護の状況，在宅生活に必要なサービス，施設入所の検討状況，傷病の有無，介護サービス利用の有無，介護者の勤務形態，仕事と介護の両立に効果的な支援内容など